平成10年〈1998〉4月号 No.716

県民の友

今月のこよみ
●春の全国交通安全運動　6日～15日
●世界保健デー　7日
●みどりの週間　23日～29日

JAPAN EXPO
南紀熊野体験博
リゾートピアわかやま'99
開催期間／平成11年4月29日(祝)▶9月19日(日)

発行　和歌山県知事公室　広報広聴課
〒640-8585　和歌山市小松原通1-1　☎0734(32)4111

21世紀の故郷づくりをめざして

平成10年度予算編成の基本的考え方

【「和歌山県長期総合計画」のスタート】

○4つの基本方向
・「心豊かで個性輝くひとづくり」
・「豊かさを実感できる暮らしづくり」
・「創造力あふれる産業づくり」
・「新時代を支える基盤づくり」

○「新時代」を拓く6つの戦略的構想
・「広域連携ネットワーク構想」
・「新産業の創出・育成」
・「紀の国ふれあいリゾート構想」
・「共に生きる安心のまちづくり」
・「快適環境のまちづくり」
・「紀の国・人・いきいき構想」

【「南紀熊野体験博」の成功に向けて】

○和歌山県の持つすばらしい歴史や文化、自然を県内外にアピール。来年4月から開催の「南紀熊野体験博」の成功に向けた全力での取り組み
・シンボルパークの整備、熊野古道への石造り説明板の設置等
・様々なメディアを使って体験博を県内外にPR
・体験博のプレ・イベント(「全国フィッシング・フェスティバル」、「シオフ・アジアこどもフェスティバル(WANPAC)」の開催



【県経済の活性化への取り組み】

○当面する経済・金融情勢への対応
・商工費は、景気・経済対策への重点配分により15億円、3・6%増加
・中小企業融資制度について、不況対策特別資金の創設による新規融資枠拡大
・貸し渋り対策として信用補完制度の充実

○将来に向けた県経済の活性化対策
・新規産業の創出支援
・技術開発研究のバックアップ
・海外物産展の開催
・企業立地促進奨励金の拡充

【当面する重要課題などへの取り組み】

○「県内2時間道路ネットワーク構想の実現」
○「情報化の推進」
○「生活排水対策」
○「防災対策」
○「福祉のまちづくり」
○「男女共生社会の形成」

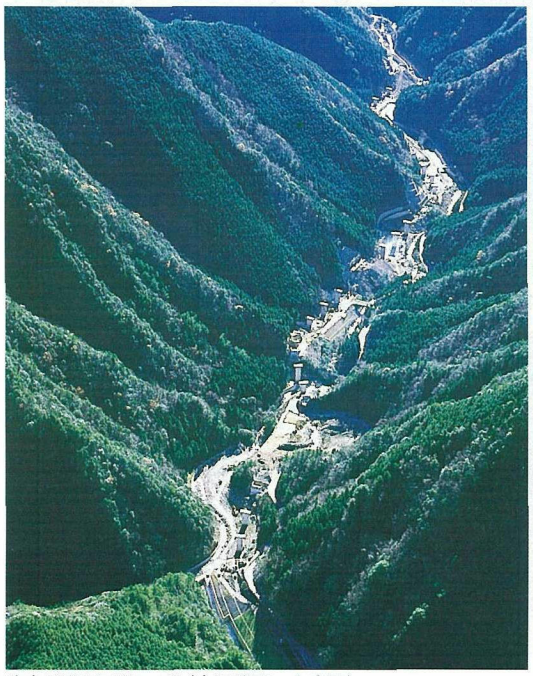
「元気いっぱい和歌山の予算」

21世紀まであと3年という変革の時代の中で、「和歌山新時代の創造」をめざした平成10年度の当初予算が編成されました。

今回の予算編成では、事務事業の徹底的な見直しや、従来の部や課という縦割の枠を超えた事業の連携と重点化など「元気の出る予算づくり」のために様々な工夫をこらしました。こうした取組によって、行財政の構造的な改革を進める一方、県経済の活性化や南紀熊野体験博などの当面する緊急の課題や医療や福祉など、県民のみなさんの生活に直接結びつく分野には予算の重点的な配分を行っています。

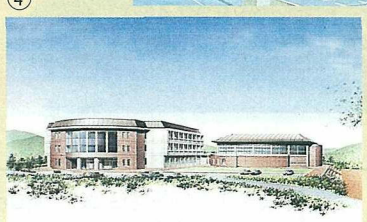
この結果、一般会計の予算総額は対前年度比で2.7%増の5,965億円となっています。

(注)1～3ページについては、県議会平成10年2月定例会に提出した議案をもとに作成しています。

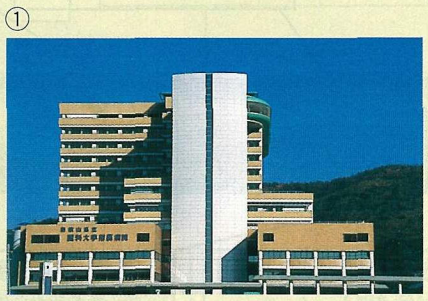

改良が進む国道311号(中辺路町～本宮町)

平成10年度にオープンする施設


③


④


②


①

①県立医科大学及び附属病院(和歌山市)
大学は本年9月、
病院は11年5月オープン予定
②県総合健康・福祉棟(和歌山市)
本年12月
③有田警察署(有田市)本年11月
④新看護婦等養成所(那賀町)11年1月

主な記事

1～3面　平成10年度予算概要
4面　組織の見直し
南紀熊野体験博ニュース
5面　拝啓　県民のみなさまへ
県名匠表彰/県スポーツ賞
わかやま学21
6～7面　お知らせ／同和連載
8面　わかやま北南NEWS
紀の国ふれあいバス
県女性センター愛称募集

平成10年度の県の主要事業

平成10年度和歌山県当初予算

●一般会計5,964億8,934万円
（教育や土木、警察など県のいろんな分野の仕事に必要なお金）
●特別会計（地方公営企業特別会計を除く）934億6,822万円
（医科大学附属病院の運営など特定の仕事に必要なお金）
●地方公営企業特別会計　227億6,376万円
（地方公営企業法の適用を受ける電気、工業用水道など公営企業のお金）

一般会計 当初予算額の推移

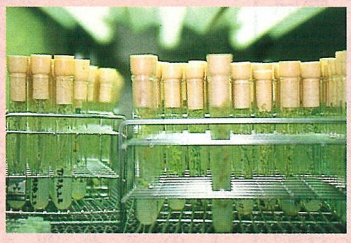


創造力あふれる産業づくり



(1) 商・工業、観光の振興

●中小企業融資　新規融資枠　587億5,400万円
●新 新産業創出等環境整備調査　1,000万円
●新 食品応用技術研究開発　2,780万円



●新 国際繊維シンポジウム　700万円
●新 中心市街地活性化支援　4,117万円
●新 紀伊半島全国フィッシングフェスティバル'98　1,000万円

(2) 農林水産業の振興



【農・畜産業】
●新 がんばろう和歌山の農林水産業推進　200万円
●中山間活力ある果樹の里づくり　2億6,092万円
●和歌山の果樹若返り対策　5,000万円
●新 農業人材確保育成総合対策　135万円
●受精卵移植技術確立普及化　1,131万円

【林業】
●新 木のぬくもり施設支援　3,000万円
●新 紀州備長炭木酢液ブランド化促進　165万円

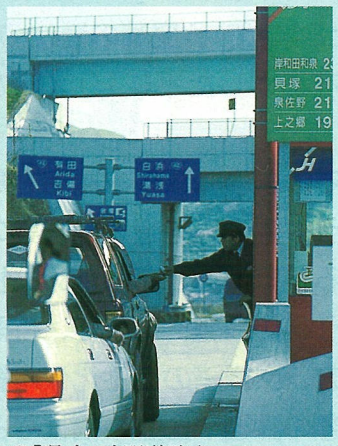


【水産業】
●沿岸漁場整備開発　3億5,000万円
●新 漁港高度利用活性化対策　5,655万円

新時代を支える基盤づくり

(1) 交通基盤の整備

【道路整備】



○『県内2時間道路ネットワーク構想』の実現に向けた取り組み　（165億1,645万円）
国・県・農林道等をネットワーク化した基幹ルートを設定し、戦略的整備路線として位置づけて予算の重点化を行いました。
・国道311号…10年度全線完成
・国道168号…10年度から越路トンネルの着工準備
・県道龍神中辺路線…9年度で本線完成供用、あとは国道311号との交差点改良
・県道和歌山橋本線…10年度で粉河～那賀町界の狭隘区間解消
●京奈和自動車道橋本道路用地先行取得　36億5,948万円
●近畿自動車道紀勢線御坊南部間用地事務　2億1,748万円
●那智勝浦道路用地先行取得



14億8,388万円
●地域高規格道路調査（五條新宮道路）　6,400万円
●高速道路整備促進関連施策　8億2,400万円
●紀淡連絡道路調査　3億4,950万円

【空港、港湾の整備】
●関西国際空港対策　8億2,325万円
●南紀白浜空港滑走路延長整備　19億7,500万円



●和歌山下津港・日高港・新宮港港湾整備　49億4,340万円



(2) 情報化の推進

○『情報化の推進』への取り組み　32億499万円
情報通信の高度化・高速化を図る次世代基盤整備や、各種情報の提供拡大、行政事務の高度化、情報教育の充実に重点を置きました。
●情報コニュニケーション教育推進　1,350万円
●新 道路情報提供システム整備　1億1,100万円
●新 運転免許証小型化　1億6,510万円

(3) 都市・住宅の整備

●都市計画道路の整備　8億520万円
●新 和歌山都市圏渋滞対策　900万円
●新 交通センター前（仮称）新駅設置　7,810万円
●新 和歌山大学新駅設置促進　363万円

(4) 新時代へのステップ

●新 第1次中期実施計画策定　1,143万円
●新 広域行政推進　2,110万円
●新 ふるさと未来づくり　1,050万円
●新 紀泉フォーラム21　400万円
●新 知事のタイムリート　300万円

労働費、災害復旧費ほか 105億円(1.8%)

労働福祉や、災害の復旧、議会の運営のための経費です。

民生費　395億円(6.6%)

高齢者・障害者・児童の福祉や生活保護のための経費です。

農林水産業費　547億円(9.2%)

農業・畜産業・林業・水産業の振興のための経費です。

総務費　552億円(9.2%)

総合開発計画の推進や市町村の振興、選挙、防災対策などのための経費です。

◎「歳出」とは?

県の支出にあたるもので、1年間にどれだけお金を使うのかの見込額を示しています。ちなみに県民一人当たりの支出は約54万円です。

土木費　1,214億円(20.4%)

道路、河川、港湾、空港の整備、都市計画や公園、住宅の整備のための経費です。

教育費　1,334億円(22.4%)

学校教育、スポーツ、文化の振興のための経費です。

衛生費　133億円(2.2%)

環境・公衆衛生、地域医療の充実のための経費です。

警察費　312億円(5.2%)

県民の生命と財産を守る警察活動のための経費です。

諸支出金　321億円(5.4%)

県に収入された税等を一定の割合で市町村等へ交付する経費です。

商工費　449億円(7.5%)

商工業や観光業の振興のための経費です。

公債費　603億円(10.1%)

県債（県の借金）を返すための経費です。

県民一人当たりの予算額 54万2,936円

この額は、年間1人当たりに費やされる県の一般会計予算額を表したものです。

県の人口 109万8,636人

(平成10年1月31日現在の住民基本台帳による)



豊かさを実感できる暮らしづくり

(1) 保健・医療の充実

- 県総合健康・福祉棟の建設、管理運営 62億6,436万円
- 医科大学移転整備 370億8,958万円
- 五陵病院再編整備 1億7,253万円
- 新看護婦等養成所建設 22億5,267万円
- 新 精神科救急医療システム整備 2,993万円
- 新 子ども保健医療福祉体制整備 1,766万円
- 新 難病患者等居宅生活支援 1,590万円

(2) 福祉の充実

- 新 県社会福祉研修センター(仮称)の設立・運営 1,279万円



【福祉のまちづくり】

○『福祉のまちづくり』への取り組み (4億4,783万円)

公共的空間のバリアフリー化の促進に重点を置きました。

- 新 福祉のまちづくり県有施設整備 3億円
- 新 福祉のまちづくりバリアフリー化促進補助 2,250万円

【高齢者対策】

- 介護保険制度導入準備 2億1,568万円
- 在宅福祉3事業の拡充 11億4,227万円

【障害者対策】

- 精神薄弱者援護施設整備 1億160万円
- 新 障害者(児)・高齢者歯科センター運営 6,732万円



(3) 人権・同和対策の推進

- 同和問題の解決(同和対策事業予算) 96億868万円
- 新 人権啓発 555万円
- 喜の国ふれあい人権フェスティバル 655万円
- 新 児童権利擁護・児童虐待防止対策 465万円
- 新 障害者権利養護相談室設置 360万円
- 登校拒否・いじめ対策 1,335万円

(4) 安全・安心な生活の実現

○『防災対策』への取り組み (22億2,349万円)

地震災害を念頭に、自主防災組織による初動対応の体制強化、医療救護やボランティア活動などの災害時の対応力の強化、防災情報ネットワーク化整備に重点を置きました。

- 新 災害拠点病院施設の整備 3億5,401万円
- 警察署庁舎の新築整備(有田・海南警察署) 9億6,570万円

(5) 豊かな環境の実現

【うるおいのある生活環境づくり】

- 新 ネイチャーフレンドシップ運動推進 1,591万円
- 動物愛護センター建設 7億1,298万円
- 新 鳥獣保護センター建設 1,033万円

【生活排水対策】

○『生活排水対策』への取り組み (80億1,861万円)

汚水処理に対する各部の施策を総合的に連携推進していきます。

- 新 流域別下水道整備総合計画策定 3,400万円
- 農業集落排水 22億1,744万円

【ごみ・し尿、産業廃棄物対策】

- ごみ・し尿処理施設整備補助 1億2,688万円
- 新 環境衛生管理特別対策 4,830万円

(6) 男女共生社会の形成

○『男女共生社会の形成』に向けた取り組み (4億9,518万円)

女性の社会参画の促進と、これを支援する保育サービス等子育て環境の整備に重点を置きました。

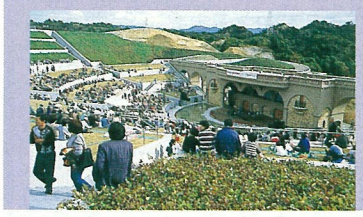
- 女性センター運営 3,752万円
- 新 一時保育ルーム促進 162万円
- 新 喜の国子育て支援 600万円
- 新 預かり保育推進補助 1,680万円



南紀熊野体験博の開催準備

○『南紀熊野体験博』に向けた取り組み (38億4,106万円)

平成11年に開催する南紀熊野体験博に向けて、広報宣伝、プレイベント、関連施設整備などに全庁体制で取り組んでいきます。



心豊かで個性輝くひとづくり

(1) 学校教育の充実

- 県立学校施設整備 46億8,974万円
- 新 ふるさと教育推進 812万円

(2) 生涯学習の推進

- 総合教育センター建設 1,000万円

(3) スポーツ・文化の振興

- 橋本運動公園・多目的体育館建設 24億1,360万円
- 紀三井寺運動公園整備 5億1,031万円





- 新 紀の国アウトドアスポーツフェア開催 1,000万円
- 新 国際卓球選手権大会補助 800万円
- 新 地域伝統芸能フェスティバル 3,083万円
- 新 熊野古道みちしるべ整備 8,139万円

(4) 国際交流の推進

- 新国際交流センター運営 2,371万円
- シオフ・アジアこどもフェスティバル 1億9,435万円



繰入金 360億円(6.0%)

主に過去に積み立てた貯金(基金)を取り崩して財源に充てるものです。

平成9年度末の基金残高(見込)は863億円ですが、平成10年度末の基金残高は594億円となる見込みです。

県債 663億円(11.1%)

道路や住宅の建設など、その効果が後年度に及ぶ事業の財源に充てるため、県が国や金融機関などから借り入れるお金です。平成10年度末で県民一人当たりの借入金の残高は52万円となる見込みです。

国庫支出金 1,106億円(18.5%)

国から地方公共団体に交付される補助金、負担金、委託金などです。

◎「歳入」とは?

県の収入に当たるもので、1年間にどれだけお金が入るかの見込額を示しています。ちなみに、県民一人当たりの一年間に県に納める税金は約9万円です。

その他 922億円(15.5%)

諸収入	506億円(8.5%)	分担金及び負担金	77億円(1.3%)
地方消費税精算金	213億円(3.6%)	地方譲与税等	21億円(0.4%)
使用料及び手数料	83億円(1.4%)	財産収入等	22億円(0.3%)

県税 1,024億円(17.2%)

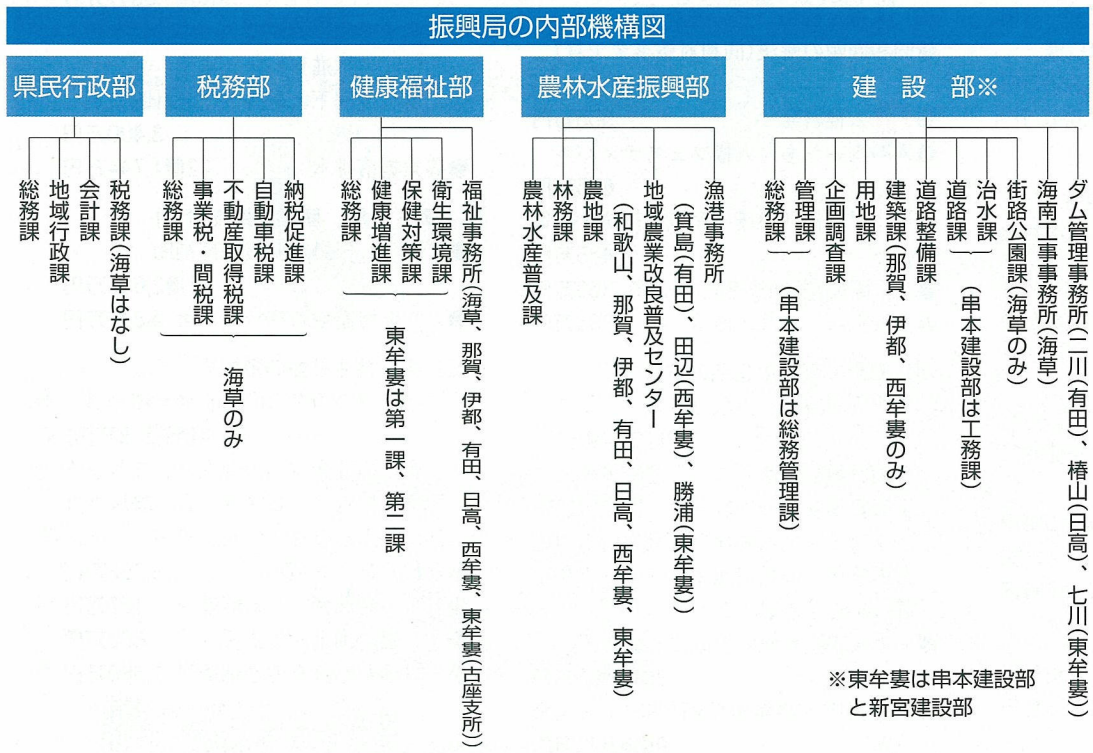
私たちの納める県民税や事業税、地方消費税、自動車税などの収入です。

地方交付税 1,890億円(31.7%)

地方財源の均衡を図る目的で国税である所得税、法人税、酒税、消費税及び国たばこ税の一定割合が国から交付されます。

新しい感覚と発想による県政をめざして

4月1日から県の組織が変わりました。



県では、平成7年11月に策定した「和歌山県行政改革大綱」に基づき、より一層、県民の皆さんの期待と信頼に応える県政を進めることをめざして、行政改革に取り組んでいるところです。

本年4月1日、県民の皆さんの身近なところで業務を行っている出先機関の連携強化を中心に、次のような組織の見直しを行いました。

「振興局」を設置

県事務所、土木事務所等を統合し、県内7地域に「振興局(海草、那賀、伊都、有田、日高、西牟婁、東牟婁)」を設置しました。

振興局には、左図のとおり県民行政部、健康福祉部、農林水産振興部、建設部(海草振興局にあっては、これらの部に加えて税務部)を設置しましたが、これに伴い、担当窓口を別表のとおり変更しました。

(別表)

主な事務	担当課
旅券発給、消費者保護、県民運動、青少年施策、女性施策	県民行政部総務課
市町村の行財政指導、防災対策、同和施策、人権施策 商工振興、労働行政、観光施策	県民行政部地域行政課
県税に関する事務	県民行政部税務課 (海草振興局は税務部)
農地転用、水産業に関する事務	農林水産振興部農林水産普及課

「南紀熊野体験博推進局」を設置

和歌山の優れた文化、歴史、自然を県内外にPRしていくために開催する「南紀熊野体験博(会期:平成11年4月29日～9月19日)」を1年後に控え、「南紀熊野体験博推進局」を生活文化部に設置するとともに、田辺市、那智勝浦町に現地事務所を開設しました。

その他の新たに設置した組織

「介護保険準備室」

介護保険制度が平成12年度から導入されることに伴う課題整理、体制準備のため、福祉保健総務課内に設置しました。

「組合検査室」

農業協同組合、漁業協同組合などの検査指導の充実、強化のために、農林水産総務課内に設置しました。

「農林水産総合技術センター」

農業試験場、畜産試験場、水産試験場など農林水産業関係の試験研究機関を組織的に統合し、県民の皆さんのニーズにあった試験研究をより積極的に行うとともに、研究成果の農家などへの普及を強化しました。

業務の委託

公園管理の効率化を図るため、和歌山市内に所在する都市公園等の管理を(財)わかやま公園緑地協会に委託しました。



4月1日から紀三井寺公園、和歌山交通公園、和歌川河川公園の管理が(財)わかやま公園緑地協会になりました。主な公園の連絡先は次のとおりです。

紀三井寺公園・大新公園・秋葉山県民水泳場・県営相撲競技場
☎(0734)44－7565

和歌山交通公園 ☎(0734)72－7690

河西緩衝緑地(湊緑地、松江緑地、西松江緑地、河西公園)
☎(0734)51－8355

片男波公園(健康館・万葉館を含む) ☎(0734)46－5553

和歌川河川公園 ☎(0734)46－4664

南紀熊野体験博ニュース

営業参加(飲食施設)希望者説明会のご案内

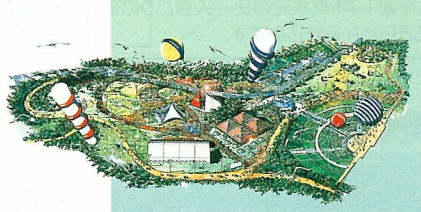
南紀熊野体験博実行委員会では、田辺新庄シンボルパーク、那智勝浦シンボルパークにおける営業施設(飲食施設)の募集説明会を開催します。

参加資格 県内及び県外業者

対象施設 飲食売店(テイクアウト型)

○田辺新庄シンボルパーク

店舗面積 約13㎡＝18店舗、約6.5㎡＝4店舗



○那智勝浦シンボルパーク

店舗面積

約13㎡＝5店舗、約6.5㎡＝4店舗

※店舗面積、店舗数については変更する場合があります。

説明会開催 5月下旬を予定

開催場所 和歌山市、田辺市、新宮市の3箇所を予定

説明会申込 4月1～24日までに、南紀熊野体験博実行委員会へ

シンボルマーク・名称ロゴタイプの使用について

南紀熊野体験博のシンボルマーク・名称ロゴタイプの使用に際しては、「ジャパンエキスポ南紀熊野体験博リゾートピアわかやま'99マーク等使用基準」によりご利用いただきたく、ご協力をお願いします。

申込・問合せ 〒640－8585
県庁内南紀熊野体験博実行委員会
☎(0734)41－2070



県名匠表彰
―伝統の技を次世代に―



伝統ある貴重な工芸品又は生活用品の制作等の技能を保持し、地域社会における技術文化の向上発展に功績のある技能者の方々に対し、昭和49年度以来、毎年贈られる「和歌山県名匠表彰」。

今年度は、高野町で木工品制作に取り組んでおられる新家虎雄(しんやとらお)さんが受賞されました。

新家さんは、大正10年高野町に生まれ、自らが山で木を育て学んだ知識と、制作にかける情熱により、製材の手法をはじめ、製作工具の考案に至るまで多くを独学で修得し、独自の技術を養ってきました。

作品に使用する木の種類は様々ですが、高野山周辺に多い杉による作品を多数制作しています。

その作風は、原木が長年風雪に耐え、年月とともに刻み込んできた様々な木目を活かした、素材を育んできた大自然の息吹を感じさせるものです。

新家さんは、次代を担う子どもたちに、紀の国和歌山の自然に育まれた木々に親しんでもらうため、夏の高野山の林間学校などで竹細工や木工細工を教えています。



拝啓 県民のみなさまへ

色とりどりの花が春を咲かせています。

昨年から始めた熊野古道の九十九王子巡りもすでに二十数箇所を数えました。行く先々で何かしら新しい発見があり、古代ロマンに思いを馳(は)せています。

先日、海南の藤白坂を歩く機会があり、「熊野古道を世界遺産に登録しよう」と活動している皆さんに同行させていただきました。運動の原点は古道の魅力を全世界に知ってもらうこと、そのためには先ず自分達で歩いてみようと、調査を始められました。「見て、聴いて、嗅(か)いで、触って、味わって」感じた「熊野古道五感マップ」という地図を作られるそうで、できあがりを楽しみにしています。

南紀熊野体験博の開幕まであと一年。今月二十九日の「一年前プレイベント」では、県内の小学生も加わって南紀熊野を舞台にしたミュージカルが和歌山マリーナシティで上演されます。それをご覧になった方が帰り道に「体験博に絶対行こうね。」と言っていただけるミュージカルをめざしているとのこと。これも本番が楽しみです。これから来年の開幕まで、あらゆる機会を通じて体験博のPRを行います。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い申しあげます。



藤白坂にて

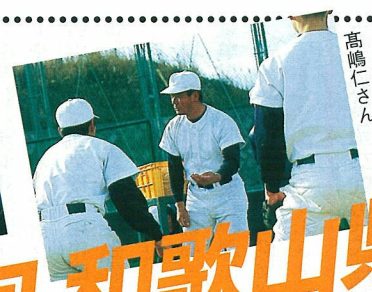
今月は、平成十年度予算の特集です。たいへん厳しい財政状況ですが、緊急を要する景気対策と生活者の立場に立ったくらしづくりの施策に重点を置きました。皆さんに元気を出していただけるようなきめ細かな予算で二十一世紀の故郷(くに)づくりをめざしたいと思います。

和歌山県知事 西口勇

第36回 和歌山県スポーツ賞 決定



三浦利枝子さん



高嶋仁さん



石井賀一郎さん



榎本秀行さん

本県のスポーツ水準の向上やスポーツの振興に貢献された方や団体に贈られる和歌山県スポーツ賞の各賞を今回、202人の方と45団体が受賞されました。

このうち、永年にわたって選手の育成、指導に尽力し、スポーツの振興に貢献している指導者に贈られるスポーツ優秀指導者賞は高校野球の高嶋仁さん、水泳の榎本秀行さん、なぎなたの三浦利枝子さん、ソフトボールの石井賀一郎さんに贈られました。

連載コラム⑥

情報化新時代



21世紀は、本格的な「情報化」社会が到来するといわれています。このコーナーでは、毎月専門の方々からのご意見・ご提言をご紹介します。

県民の皆さん一人ひとりが、時代の変化を読みとるご参考にしていただければ幸いです。

高度情報化推進協議会会長 亀井 正夫

黒潮洗う海岸線、紀伊半島の澄みきった山々、豊かな温泉など和歌山県は自然に恵まれ、暖かい人情もあります。

このような情報を広く関西へ、そして日本へ、さらには世界へと県の「黒潮ネットワーク」などをはじめとした「マルチメディア・ネットワーク」にのせて発信することにより多くの人々に「紀の国」和歌山を知ってもらうことができます。

今はもう簡単に世界中の人とネットワークを通じ交流することもできるようになりました。

情報化が進む中で、夢のようなことが次から次へと実現されてきています。一人一人が情報化の波の中へ飛び込む勇気を持ち、多くの人と交流するとまた新しい世界が開けてくると思います。

地域と大学が手を携え「和歌山」の未来を拓く

「わかやま学21」地域連携推進事業

県では、平成7年度から、大学等の高度な研究機能を生かして「わかやま」の新たな飛躍の芽を育てるため、県内の大学等の教員が自由な発想で行う「わかやま」をフィールドにした研究を支援しています。

これまでに、自然科学、社会科学、人文科学、教育、保健の各分野から100件を越える応募をいただき、その中から紀州備長炭の特性と製造法、インターネットによる田辺地域情報発信モデルの作成、本県へのオフィス誘致の可能性、城下町和歌山の景観復原、「熊野蜂蜜」の蜜源の確保、黒江漆器を支える人々の健康づくり、遺伝子工学を駆使した真珠の生成などをテーマとする数々のユニークな研究成果が生まれています。

平成10年度は、本県に所在する大学、短期大学、高等専門学校及び大学附属研究機関の教員又は、本県在住の前記高等教育機関の教員を対象に4月30日まで募集しています。

くわしくは県庁企画総務課☎(0734)41－2334へお問い合せください。



「県民の友」もご覧になれる和歌山県のインターネットホームページは　http://www.wakayama.go.jp/

INFORMATION おしらせ

募集

県営住宅入居者

出雲団地(串本町)3DK
一般1戸、補欠1戸
用紙配布　5月6日～6月8日、各振興局(海草を除く)建設部、県庁住宅課、串本・すさみ・古座・古座川・日置川町役場
申込　6月9・10日午前10時～午後4時、東牟婁振興局串本建設部へ
くわしくは申込先☎(0735)22—8551へ

全日本中学生水の作文コンクール

課題　水について考える(題名自由)
資格　県内在住・通学の中学生(中学生と同じ学齢の者を含む)
規格　400字詰原稿用紙4枚以内で日本語表記(本文の前に題名、学校名、学年、氏名(フリガナ)、性別を記入)
応募　5月15日までに県庁水・土地政策課へ
くわしくは応募先へ

看護の日、看護週間

①5月12日に和歌山城公園周辺でパレード、JR橋本駅前ほか7カ所で街頭キャンペーンを実施。
②高校生の集い(一日看護学生)
期日・場所(定員)　5月10日・和歌山看護専門学校(50人)、5月17日・県立高等看護学院(50人)、5月17日・紀南看護専門学校(30人)、5月17日・県立なぎ看護学校(40人)、5月23日・労災看護専門学校(50人)、5月23日・赤十字看護専門学校(120人)
申込　県看護協会へ
③ふれあい看護体験'98
対象　高校生以上の男女
期日・場所　5月8日＝日本赤十字社和歌山医療センター、10日＝海南市民病院、12日＝橋本市民病院・新宮市立市民病院・有田市立病院・古座川病院・国立療養所和歌山病院、13日＝県立医大附属病院・紀南綜合病院・同新庄別館・国立南和歌山病院・和歌山労災病院・那賀病院、14日＝県立医大附属病院紀北分院、15日＝和歌山生協病院・済生会和歌山病院・野上厚生総合病院・日高総合病院
申込　往復ハガキに希望病院名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、洋服のサイズを記入し、4月17日までに〒641—0036和歌山市西浜1014—27和歌山県看護協会「ふれあい看護体験'98」係へ。希望者多数の場合抽選。
①～③のお問い合せは県看護協会☎(0734)46—0605へ

近畿青年洋上大学

中華人民共和国を訪問し、ホームステイを通じて国際理解を深めます
期間　8月12～23日(12日間)
資格　県内在住の20歳以上30歳以下の青年で、現に青少年団体活動を行っている、又は今後行おうとする人
定員　30人　**費用**　16万円
申込　4月30日までに、各市町村青少年担当窓口へ
くわしくは県庁青少年課、各振興局県民行政部総務課へ

青年海外協力隊員

開発途上国の人々の新しい国づくりを応援してください。
説明会　4月20日＝和歌山ターミナルホテル、21日＝橋本商工会館、5月15日＝県民文化会館、17日＝田辺市民総合センター
募集期間　4月15日～5月30日
くわしくは県庁青少年課へ

キス釣りに挑戦

期日　5月9・10日(1泊2日)
会場　白崎少年自然の家(由良町)
対象　小学5年生～中学生(保護者の参加も可)40人
申込　ハガキに参加者氏名、性別、学年、保護者名、住所、電話番号、学校名、交通機関を記入し、4月25日(必着)までに、〒649—1123日高郡由良町大引961—1白崎少年自然の家へ

熊野古道　糸我峠を往く

JR宮原駅を出発し、糸我峠を越え、勝楽寺へ至るハイキングコース。
期日　5月9日午前10時～
対象　小学4・5・6年生・中学生(保護者同伴)50人(多数の場合抽選)
申込　ハガキに住所、氏名、電話番号、学年、学校名、保護者氏名を記入し、4月27日までに〒640—8137和歌山市吹上1—4—14県立博物館親と子の歴史教室係へ
くわしくは申込先☎(0734)36—8670へ

県立自然博物館　友の会会員募集

自然博物館を利用し、自然を楽しく学び親しむ会です。入会すると、入館料が友の会員担で無料になったり、機関紙等が郵送されます。年会費は大人＝1、800円、高校生＝1、300円、中学生以下＝1、000円、賛助会員＝5、000円以上ですが、同一家族の2人目から割引があります。
くわしくは県立自然博物館友の会☎(0734)83—1777へ

ナンキー倶楽部第2期会員募集

南紀白浜空港のファンクラブです。入会時に、テレホンカードプレゼントや、空港内のレストラン、土産物店の割引、航空機利用に応じて豪華商品が当たります。年会費500円。
申込書は南紀白浜空港、各市町村役場、県庁港湾課、日高・西牟婁・東牟婁振興局地域行政課にあります。
くわしくはナンキー倶楽部事務局☎(0734)41—3157へ

再就職希望女性の技術講習会

科目・場所　①パソコン・和歌山市
②パソコン・那智勝浦町
定員　各20人
期日　①5月11日～6月8日の月～金　②6月10日～7月29日の月・水・金
申込　①4月15～17日女性就業援助センター☎(0734)33—1181
②5月13～15日那智勝浦町役場水産商工課☎(07355)2—0555
くわしくは申込先へ

喜の国いきいき健康長寿祭スポーツ交流大会

期日・会場・種目　①5月21日・和歌山市内・卓球、ソフトテニス　②6月12日・田辺市内・ペタンク、グラウンドゴルフ、弓道
※種目によりダブルス・トリプルス等の別あり
対象　県内在住の60歳以上(昭和14年4月1日以前生まれ)の方
申込　ハガキに住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、種目を記入し、5月6日(必着)で、〒640—8269和歌山市小松原通1—1—11大岩ビル6階(財)県いきいき長寿社会センターへ
くわしくは申込先☎(0734)24—2141へ

洋上老人大学「長寿丸」

6月2～5日(船中2泊、ホテル1泊)、和歌山港発、霧島、桜島を巡る。
資格　県内在住・65歳以上(6月1日現在)の健康で団体行動ができる方。　**定員**　477人
申込　5月6日までに、居住地の市町村役場へ。
くわしくは申込先、(財)県いきいき長寿社会センター☎(0734)24—2141へ

要約筆記ボランティア説明会

難聴や中途失聴の障害のある方のための要約筆記についての説明会及びボランティアの募集。
期日　5月17日、6月21日、7月5日
場所　いずれも午後2～4時(和歌山市)　**受講料**　無料
申込　開講日の4日前までに和歌山県身体障害者総合福祉会館☎(0734)45—0881、県身体障害者連盟☎(0734)23—2665へ
くわしくは申込先へ

考えよう　知ろう　語ろう
北方領土

障害者はがんばっている

同和連載

粉河町　粉河小学校4年　野呂　茜

学校で、「新ちゃんが泣いた」というビデオを見ました。新ちゃんは、障害者で、足が不自由です。足が不自由な新ちゃん、そしてその新ちゃんを助けるつよし君に、私は、強く感動しました。そこで、私は、障害者の人は、私達の何倍もがんばっている事が解りました。新ちゃんは、自分で歩けなくても、ひっしに歯をくいしばって、リハビリを続け、がんばっていました。どんなに苦しくてもどんなにつらくても、〝自分でどんなにつらくても、〝自分でした。目、耳、口、手、足、いろんなところが不自由な人も世の中には、数えきれないほどいます。その一人ひとりが、歯をくいしばってがんばっているのではないでしょうか。新ちゃんもその中の一人です。なのに、どうして障害者の人達を、笑ったり、いじめたりするのでしょうか。そのようなひどい事をしたりする人は、きっと障害者の人達を差別しているんだと思います。私達もそうではないでしょうか。何の不自由もない人でも、走る事がおそい、成績が悪いなどと言って、仲間はずれにされたりする人もいるんじゃないかな。そんな事も許されない差別です。自分よいと言う考えは、ぜったいにまちがっています。今まで私は、障害者の人を、〝かわいそうだなあ〟と言う目で見ていましたが、ビデオを見て、〝あ、障害者の人達は、自分の不自由さと戦っているんだ〟と思いました。その戦いの中で、苦しさをのりこえていく人もいます。

きっと、いじめや差別をしたりする人は、人の気持ちを解っていない、心がさびしい人だと思います。つまり、そんな事を、言われたり、されたりする人の気持ちをちっとも考えていないのです。つよし君が言った言葉は「おれたちは、何も悪い事をしていないじゃないか、おれ達がどんな悪い事をしたんだ。」です。本当にそうです。何の悪い事もないのに。でも、そんないじめられたりする人を、助けたり、ささえてあげる人はすばらしいと思います。きっとその人はされた人の気持ちや苦しさを分かっているのでしょう。

最後に、新ちゃんがながした涙は、うれしい涙です。今までとてもがんばってきた事をお母さんがみんなの前で言ってくれた時は、うれしかっただろうな。

人間と言うのは、自分のする事、やらなければならない事をするために生きているのです。それを果たさなければいけないのです。だから、毎日の一秒一秒を大切に生きるのです。これからは、障害者の人達を、かわいそうだと思うのではなく、〝この人達は、私達の何倍もがんばり、何かが不自由でも、ねばり強くたえて、すばらしい心を持っている人達なんだ〟と言う心で見ていきたいと思います。

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子供たちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。　(平成八年度入選作品)

平成10年
4月
1(水)
2(木)
3(金)
4(土)
5(日)
6(月)
7(火)
8(水)
9(木)
10(金)
11(土)
12(日)
13(月)
14(火)
15(水)
16(木)
17(金)
18(土)
19(日)
20(月)
21(火)
22(水)
23(木)
24(金)
25(土)
26(日)
27(月)
28(火)
29(水)
30(木)

県庁・県教育委員会への郵便は〒640−8585 ○○○課あて ☎(0734)32−4111

平成10年 5月

1(金) 2(土) 3(日) 4(月) 5(火) 6(水) 7(木) 8(金) 9(土) 10(日) 11(月) 12(火) 13(水) 14(木) 15(金) 16(土) 17(日) 18(月) 19(火) 20(水) 21(木) 22(金) 23(土) 24(日) 25(月) 26(火) 27(水) 28(木) 29(金) 30(土) 31(日)

ファミリー野外クッキング&ゲーム

期日 5月17日
会場 紀北青年の家(かつらぎ町)
定員 家族単位で15組(先着順)
申込 4月19日午前9時から電話で会場☎(0736)22−5530へ

くわしくは申込先へ

グラウンドゴルフ「潮岬オープン」

期日 5月10日午前9時〜
会場 潮岬青年の家(串本町)
定員 県内在住の親子・家族100人(先着順)
申込 4月16日午前9時から電話で会場☎(07356)2−0182へ

くわしくは申込先へ

ごあんない

自動車税・自動車取得税の減免

身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者が使用する自動車については、申請により、自動車の名義・障害の程度等一定要件のもとに、自動車税・自動車取得税の減免が受けられます。既に自動車を登録している場合は、5月25日まで。新規登録の場合は、登録申請前までです。申請は毎年度必要ですので、継続の方も申請はお早めに。

くわしくは各振興局税務課(海草振興局は自動車税課)へ

平成10年地価公示

地価公示は、都市計画区域内で標準地を選び、その適正な土地価格を公示し、土地売買の際の参考にしていただくものです。

くわしくは該当する市町村役場へ

身体障害者手帳の交付対象が拡大

4月1日から「ヒト免疫不全ウィルスによる免疫の機能障害」について、新たに身体障害者手帳の交付対象となりました。

くわしくは県庁障害福祉課へ

男女雇用機会均等法の一部改正

4月1日から次の点が改正。

○妊娠中及び出産後の女性労働者が保健指導又は健康診査を受けるために必要な時間の確保等が、事業主に義務づけられました。

○多胎妊娠時の産前休業期間が、10週間から14週間に延長されました。

くわしくは和歌山女性少年室☎(0734)22−4743へ

国民年金に加入していますか?

20歳以上60歳未満の日本国内に住所のある人は、すべて国民年金に加入しなければなりません。会社等で厚生年金に加入していた方が、退職して再就職するまでの間は、国民年金に加入し、保険料を納めなければなりません。加入手続きをしていない方や、保険料の納め忘れのある方は、将来年金を受けられない場合がありますのでご注意ください。

くわしくは県庁国民年金課へ

年金受給権者現況届の市町村長の証明が不要となりました

国民年金や厚生年金受給者が、継続して年金を受けるために、毎年誕生月の末日までに現況届を提出することになっていますが、その際の市町村長の証明は不要となりました。

ただし、特別支給の老齢厚生年金を受けている方が、65歳になったとき提出する「国民年金・厚生年金保険老齢給付裁定請求書」は今までどおり市町村長の証明が必要です。

くわしくは県庁国民年金課へ

新しい理容師・美容師の試験と免許

理容師法・美容師法の一部を改正する法律が4月1日から施行。

主な改正点は、

①免許を与える者が都道府県知事から厚生大臣になったこと(新しい理・美容師試験は平成12年4月1日から実施)

②試験及び登録に関する事務を実施する者が都道府県知事から厚生大臣となったこと(新しい理・美容師試験は平成12年4月1日から実施)

③養成施設入学資格者が中学校卒業から、原則、高等学校卒業となったこと。ただし、厚生省令で定める要件の該当者は、入学が認められます。

くわしくは(財)理容師美容師試験研修センター☎(0734)33−3844、県庁生活衛生課、各保健所へ

Uターンフェア開催

来春卒業予定の大学生等を対象に各企業の人事担当者との個別面談を行います。

日時 4月16日午前10時〜午後3時
場所 和歌山ターミナルホテル(和歌山市)

※お盆の時期に、和歌山・田辺・御坊・新宮市で一般Uターン希望者を含めた同フェアを開催予定。

くわしくは県庁職業安定課へ

生涯学習ボランティアの登録を

登録をすると、専門のコーディネーターが活動先を紹介します。団体登録も可能です。

また、ボランティアを求めている施設や団体等の登録も受け付けています。登録及びお問い合せは県立図書館内県生涯学習ボランティアセンター☎(0734)36−9532、最寄りの地方教育事務所へ

平成11年夏オープン「紀の国会館」新施設名称決定!

アバローム紀の国

「アバローム」はスペイン語を語源とする言葉で「希望」の意味です。千通以上の応募の中から、和歌山市の納谷洋子さんの作品に決定。多数のご応募ありがとうございました。

警察官受験セミナー開催

期日 5月2日午後1時30分〜
場所 華月殿(和歌山市)

申込方法などくわしくは県警察本部警務課採用係☎(0734)23−0110へ

労働保険の年度更新手続きは5月20日までに

労働保険料の申告・納付は、5月20日までに必ず済ませてください。

くわしくは和歌山労働基準局、各労働基準監督署、県庁雇用保険課へ

試験

危険物取扱者試験

期日 6月14日午前9時30分〜
場所 和歌山市、田辺市、新宮市(受験票に明示します)
願書配布 (財)消防試験研究センター、県庁消防防災課、各振興局地域行政課へ
受付 4月20〜23日

くわしくは(財)消防試験研究センター和歌山県支部☎(0734)25−3369へ

製菓衛生師試験

期日 6月5日午前10時30分〜
場所 県民文化会館(和歌山市)
手数料 9、400円(県証紙)

受験願書、菓子製造業従事証明書の配布は県庁生活衛生課、各保健所へ
受付 5月6〜14日までに住所地を管轄する保健所(県外居住者は県庁生活衛生課)へ

骨髄バンクの登録受付窓口

保健所	開設日時
高野口保健所	毎月第4月曜日 午前9〜11時
湯浅保健所	毎月第1月曜日 午前9〜11時
田辺保健所	毎月第1水曜日 午後1〜2時
新宮保健所	毎月第3月曜日 午前9〜11時

くわしくは県庁薬務課へ

融資など

日本育英会奨学金

資格 ①平成10年度高校(盲・ろう・養護学校高等部を含む)在学中②平成11年度高校、盲・ろう・養護学校高等部、高等専門学校、大学、短大に進学予定
申込 ①4月10日〜7月21日②4月15日〜6月10日までに、原則として在学(出身)校を通じ日本育英会和歌山県支部へ

くわしくは日本育英会和歌山県支部☎(0734)36−1563へ

うめ対策緊急特別資金

対象 うめの生育不良による被害で、農業経営又は農家経済に著しい支障を受けた農業者
貸付限度額 300万円
貸付金利 1・3%
償還 5年(うち据置は1年)以内

くわしくは県庁農業振興課、JA和歌山県信連融資部特融課☎(0734)26−8028へ

①中小企業設備近代化資金 ②設備貸与資金

①中小企業の方に、無利子で設備資金の約半額をお貸しする制度。貸付最高限度額4千万円、返済は1年以内据置き後4年均等償還。

②中小企業の方が保証金と割賦損料で、設備を使用しながら取得できる制度。割賦限度額3千500万円、リース限度額6千万円。

説明会 4月16日＝西牟婁総合庁舎、17日＝東牟婁総合庁舎、21日＝伊都総合庁舎、23日＝日高総合庁舎、24日＝県民文化会館。すべて午後1時30分〜3時30分。
問合せ ①県庁商工金融課 ②(財)和歌山県中小企業振興公社☎(0734)32−3412へ

生涯能力開発給付金

労働者の職業能力の開発、向上のため、教育訓練を行う雇用保険適用事業主に給付金を支給します。給付金は教育訓練に要した経費、訓練中の賃金が対象です。事業所の規模や従業員数等により、支給割合や支給対象者の年齢が異なります。

くわしくは県庁労政能力開発課へ

県職員採用試験

平成10年度職員採用試験の日程や受検資格など詳細を盛り込んだ「職員採用試験総合案内」ができました。県人事委員会事務局、各振興局県民行政部総務課、各警察署などで配布しています。

くわしくは県人事委員会事務局へ

電話番号変更のお知らせ

新宮・串本地域で現在使われている電話番号が平成10年5月5日午前0時から変更されます。基本料金等の電話料金、フリーダイヤルなどの番号は変更ありません。

くわしくは郵政省近畿電気通信監理局☎(06)942−8518へ

地域	地名	変更前	変更後	
新宮	新宮市	0735-△△-XXXX	変更なし	
	熊野川町、本宮町	07354-△-XXXX	0735	4△−XXXX
	北山村	073549-XXXX		49−XXXX
	太地町、那智勝浦町	07355-△-XXXX		5△−XXXX
串本	串本町	07356-△-XXXX	0735	6△−XXXX
	古座町、古座川町	07357-△-XXXX		7△−XXXX

浄化槽の適正な維持管理を行い、きれいな水を環境に返しましょう
お問い合せは最寄りの県立保健所へ

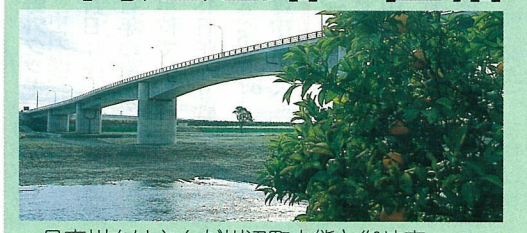
女性と男性がお互いに理解し協力し 責任を分かち合える社会を
4月10〜16日は「女性週間」です

わかやま北南NEWS



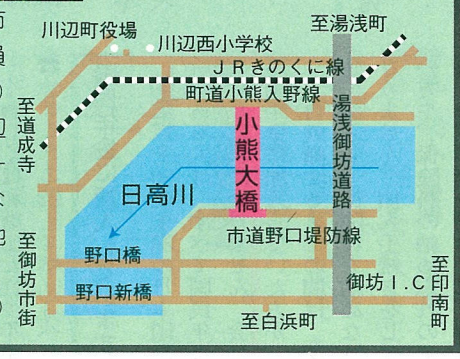
熊野学シンポジウムⅣ(那智勝浦町)

ふるさと農道で高速道路に直結！



日高川をはさんだ川辺町小熊と御坊市野口の間を結ぶ農道(県営事業：幅員10.5m、延長658m<うち橋梁305m>)が完成しました。この完成により、川辺町の農産物が湯浅御坊道路御坊インターを経て京阪神市場に高速輸送しやすくなるほか、幹線道路網の充実による周辺地域間の交流拡大に寄与します。

(川辺町・御坊市)





3月に行われた木村和司さん(元日本代表選手)による少年サッカー教室

日本サッカー協会旗章

ヤタガラスで熊野の活性化！

ワールドカップ初出場を決めたサッカー日本代表チームのユニホームにデザインされている三本足のカラスをご存知でしょうか。これは日本サッカー協会のシンボルマークですが、熊野三山の象徴でお守りなどにも描かれている「ヤタガラス」とそっくりなのです。そんな縁から熊野三山の地元、新宮市と那智勝浦町、本宮町の行政関係者や観光協会、サッカー関係者らが「ヤタガラス」をシンボルに熊野地域の活性化をめざそうと、「ヤタガラスPR実行委員会」を発足させました。

同委員会では今後、ヤタガラスの調査・研究をはじめ、サッカー日本代表の必勝祈願祭やサッカー大会などを計画して、「熊野」を全国にアピールします。

催し

県立近代美術館 ☎(0734)36−8690



「サロメ」より〈孔雀の裳裾〉

世紀末芸術の華　オーブリー・ビアズリー展

妖艶なグラフィックの世界を築いたアールヌーヴォーの鬼才、没後100年によせる回顧展。

4月11日〜5月10日　午前9時30分〜午後5時(入場は午後4時30分まで)　月曜日休館(祝日等の場合は翌日)

県立博物館 ☎(0734)36−8670

「東照宮の文化財Ⅰ」ー家康と頼宣ー

4月25日〜6月28日　午前9時30分〜午後5時(入館は午後4時30分まで)　月曜日休館(祝日等の場合は翌日)

県立紀伊風土記の丘 ☎(0734)71−6123

はこぶー古民具でみる昔のくらしー

4月1日〜9月23日　月曜休館(祝日等の場合は翌日)

県立自然博物館 ☎(0734)83−1777

常設展示　ニタリクジラ全身骨格標本

わかやま館 ☎(0734)48−0070

ドームシアター　新映像好評上映中！

「ディノプラネット」〜よみがえる恐竜たち〜

上映時間等についてはお問い合せください。

お気軽にどうぞ

交通事故相談

[常設相談]　月〜金曜日(東牟婁振興局は水曜日を除く)

場所　県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

[弁護士による相談]　●県庁交通事故相談所　4月20日、受付　午後1〜2時　●東牟婁振興局　4月17日　5月1日　5月15日　受付　午前9時〜正午

[巡回相談]　●伊都振興局　4月22日　●西牟婁振興局　5月13日　受付　午後3時まで

県民相談

[常設相談]　月〜金曜日　場所　県庁県民相談室、各振興局

[弁護士による相談]　4月24日、5月8日　場所　県庁県民相談室　受付　午前9時〜11時

[移動相談]　●串本町文化センター　4月16日　那賀町総合センター　4月21日　美里町町民会館　5月1日　清水町文化センター　5月15日　受付　午後1〜3時

※くわしくは☎(0734)41ー2359(交通事故相談)、☎(0734)41ー2356(県民相談)へ

県女性センター愛称募集

男女共生社会の実現をめざし、女性センターが本年12月、県総合健康・福祉棟(仮称)9階にオープン。交流・学習・相談等の機能をもつこのセンターを男女問わず多くの方に利用していただけるよう、親しみやすい愛称を募集します。

応募　ハガキに愛称とその意味、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、6月1日までに〒640−8585県庁女性政策課へ。

くわしくは応募先☎(0734)41−2510へ。



女性センターが設置される県総合健康・福祉棟

きらめく女性地域活動支援

女性問題の調査研究、研修・講座等、男女共生社会の実現に寄与すると認められる事業等に対し補助金を交付(経費の2分の1、限度額100万円)。12月に県女性センターがオープンするので、同センターで実施する事業を歓迎します。

対象　構成員10名以上でその過半数並びに代表者が女性である団体。

受付　5月15日までに各市町村女性問題担当窓口で協議書を受付。

くわしくは県庁女性政策課、各振興局県民行政部総務課へ。

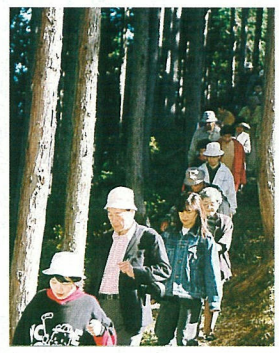
ボランティア募集中



わんぱくステッカーができました。

くわしくは県庁生活文化総務課内アジアこどもフェスティバル実行委員会事務局☎(0734)41−3980　41−2052

紀の国ふれあいバス参加者募集



Aコース　5月13日(水)　100人　1,500円
県民文化会館前〜熊野古道館〜熊野古道体験(約3km歩きます)〜林木育種場

Bコース　5月14日(木)　43人　1,900円
海南市役所前〜南紀白浜空港〜防災航空センター〜新庄総合公園

Cコース　5月14日(木)　45人　1,500円
那賀総合庁舎前〜金剛峰寺〜護摩壇山ワイルドライフ〜華岡青洲生誕地(春林軒)

Dコース　5月13日(水)　50人　1,000円
伊都総合庁舎前〜県立自然博物館〜和歌山マリーナシティ〜万葉館〜紀伊風土記の丘

Eコース　5月14日(木)　50人　1,700円
有田総合庁舎前〜椿山ダム〜護摩壇山ワイルドライフ〜SanPin中津

Fコース　5月14日(木)　50人　1,700円
由良町中央公民館前・内原バス停前・日高総合庁舎前〜暖地園芸センター〜南部川村うめ振興館〜新庄総合公園〜御坊火力発電所

Gコース　5月14日(木)　50人　350円
JR紀伊田辺駅前〜醸造工場(海南市)〜和歌山ビッグホエール〜消費生活センター

Hコース　5月13日(水)　40人　1,200円
東牟婁総合庁舎前〜南紀白浜空港〜白浜町清掃センター〜畜産試験場

※A,B,C,E,F,Hコースは昼食代込み。

申込　ハガキに参加者全員(1枚2人まで、1枚に限る)の氏名、年齢、及び代表者の住所、電話番号、を記入し、4月22日まで(消印有効)に、各コースの申込先へ。(希望者多数の場合は抽選)

A　〒640-8585県庁広報広聴課☎(0734)41-2034
B　〒640-8585和歌山市小松原通1-1海草振興局県民行政部総務課☎(0734)23-9261
C　〒649-6223岩出町高塚209那賀振興局県民行政部総務課☎(0736)63-0100
D　〒648-8541橋本市市脇4-5-8伊都振興局県民行政部総務課☎(0736)34-1700
E　〒643-0004湯浅町湯浅2355-1有田振興局県民行政部総務課☎(0737)63-4111
F　〒644-0011御坊市湯川町財部651日高振興局県民行政部総務課☎(0738)22-3111
G　〒646-0027田辺市朝日ケ丘23-1西牟婁振興局県民行政部総務課☎(0739)22-1200
H　〒647-0043新宮市緑ケ丘2-4-8東牟婁振興局県民行政部総務課☎(0735)22-8551

お問い合せはそれぞれの申込先へ

和歌山県行政関係資料の朗読テープ

和歌山点字図書館(和歌山市駿河町)☎(0734)23−2665、28−0515では、次のテープの他各種朗読テープを所蔵しています。

- ●平成8年度県政Q&A
- ●平成8年度100の指標からみた和歌山
- ●平成8年度福祉保健部の概要
- ●いきいきとした喜の国・和歌山の実現に向けて
- ●おとしよりのための保健・医療・福祉ガイド
- ●平成7年度版社会福祉施設一覧
- ●同和問題を理解するために
- ●ボランティアガイド
- ●わかやま女性100人委員会専門部会提言書